

安全データシート

改訂日:2015年12月1日

1 化学品及び会社情報

【化学品の名称】

 製品名(製品番号) : AUデタージェント(アルカリ)(MS028400 /MS029700)
 シリーズ : AUシリーズ

【提供者の情報】

 会社名 : ベックマン・コールター株式会社
 住所 : 〒135-0063 東京都江東区有明三丁目5番7号 TOC有明ウエストタワー
 担当部門 : 品質・薬事統括部門
 電話番号 : 0120-566-730
 Fax番号 : 03-5530-8638

2 危険有害性の要約

GHS分類
 健康に対する有害性
 ・急性毒性(経口) : 区分外
 ・皮膚腐食性・刺激性 : 区分1(H314)
 ・眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性 : 区分1(H318)
 ・特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) : 区分2(H371)
 環境に対する有害性
 ・水生環境急性有害性 : 区分3(H402)

GHSラベル要素
 絵表示またはシンボル

注意喚起語 危険

危険有害性情報
 H314－重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
 H318－重篤な眼の損傷
 H371－呼吸器の障害のおそれ
 H402－水生生物に有害

注意書き
【安全対策】

- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- ・取扱い後はよく洗うこと。
- ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙しないこと。
- ・環境への放出を避けること。

【応急措置】

- ・眼に入った場合
 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・皮膚(又は髪)に付着した場合
 : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水(またはシャワー)で洗うこと。
- ・飲み込んだ場合
 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・吸入した場合
 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- ・ばく露またはばく露の懸念がある場合

安全データシート

製品名: AUデタージェント(アルカリ)
製品番号: MS028400 /MS029700

: 医師に連絡すること。
【保管】
・容器を密閉して保管すること。
【廃棄】
・内容物／容器を法定廃棄物処理業者に廃棄すること。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

成分情報

化学名	化学式	CAS 番号	含有量	官報公示 整理番号
水酸化ナトリウム	NaOH	1310-73-2	1~5 w/v%	化審法化学 物質(1)-410
ポリオキシエチレン アルキルエーテル	RO(CH ₂ CH ₂ O) _n H	84133-50-6	5~10w/v%	安衛法化学 物質(7)-97

4 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。医師の診断、手当てを受けること。
予想される急性症状及び
遅発性症状 吸入: 灼熱感、咽頭痛、咳、息苦しさ、息切れ。症状は遅れて現れることがある。
皮膚: 発赤、痛み、重度の皮膚熱傷、水疱。眼: 発赤、痛み、かすみ眼、重度の熱傷。
経口摂取: 灼熱感、腹痛、ショックまたは虚脱。
応急処置をする者の保護 : 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。
医師に対する特別注意事項 : 症状は遅れて発現することがあり、過剰にばく露したときは医学的な経過観察が必要である。

5 火災時の措置

消火剤 : 泡、粉末、炭酸ガス
消火方法 : 速やかに火源から遠ざける。水溶液のため引火燃焼しないが、水分蒸発後は燃焼する。
消火を行う者の保護 : 適切な保護具を着用し、風上より消火作業を行う。

安全データシート

製品名: AUデタージェント(アルカリ)
 製品番号: MS028400 / MS029700

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項: 作業の際には、保護具(メガネ、手袋など)を着用し、飛沫等が眼、皮膚や衣服に付着しないようにする。

環境に対する注意事項: 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。環境中に放出してはならない。

回収・中和: 乾燥した土、砂あるいは不燃性物質で吸収し、あるいは覆って容器に移す。アルカリ性製品のため、酸(希塩酸など)で中和する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材: 危険でなければ漏れを止める。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 技術的対策: 推奨する保護具を着用し、飛沫等が眼、皮膚や衣類に付着しないように慎重に取り扱う。

注意事項: 漏れや飛散を防ぐ為に、取扱いの都度、容器を密閉する。

安全取扱注意事項: 容器を転倒、落下させる等、衝撃を加える乱暴な取扱いをしてはならない。

保管: 直射日光を避け、室温で密閉して保管する。

保管条件: 酸性物質と一緒に保管しない。

容器包装材料: 推奨 ポリエチレン、ポリプロピレン
 : 不適切 銅、アルミニウムを材質とした容器

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

化学名 (一般名)		水酸化ナトリウム	ポリオキシエチレンアルキルエーテル
管理濃度		設定されていない	設定されていない
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	日本産業衛生学会	最大許容濃度 2mg/m ³ (2009年度版)	設定されていない
	ACGIH	TWA 設定されていない STEL 2mg/m ³ (2009年度版)	設定されていない

保護具 保護メガネ、ゴム手袋及び状況に応じて保護衣、ガスマスク等。

9 物理的及び化学的性質

外観等	: 液体	融点	データなし
色	: 微黄色透明	沸点	データなし
透明度	: データなし	溶解性	
臭気	: データなし	水	溶解する
pH	: 11.1~12.1(1%)	有機溶媒	データなし
比重	: 1.076~1.086		

安全データシート

製品名: AUデタージェント(アルカリ)
製品番号: MS028400 /MS029700

10 安定性及び反応性

反応性	: アルカリ性のため、酸と接触すると反応する。
化学的安定性	: 通常の手扱い条件においては安定。
危険有害反応可能性	: 強酸化剤と反応する。
避けるべき条件	: 加熱。
混触危険物質	: アルミニウム、チタン、亜鉛、及びそれらの合金
危険有害な分解生成物	: データなし

11 有害性情報

急性毒性(経口)	: 計算式より ATE 値を求め区分外とした。推定値 LD50=4,258mg/kg 但し、GHS 分類では区分5に該当する。
急性毒性(経皮)	: データ不足のため、分類できない。
急性毒性(吸入: 蒸気)	: データ不足のため、分類できない。
皮膚腐食性・刺激性	: GHS 分類の結果、区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	: GHS 分類の結果、区分1とした。
呼吸器感作性	: データ不足のため、分類できない。
皮膚感作性	: データ不足のため、分類できない。
生殖細胞変異原性	: データ不足のため、分類できない。
発がん性	: データ不足のため、分類できない。
生殖毒性	: データ不足のため、分類できない。
特定標的臓器(単回ばく露)	: 特定標的臓器(単回ばく露)物質区分1を 1~10%含むため区分2(呼吸器)とした。
特定標的臓器(反復ばく露)	: データ不足のため、分類できない。
吸引性呼吸器有害性	: データ不足のため、分類できない。

12 環境影響情報

生態毒性	
水生環境急性有害性	: GHS 分類の結果、区分3とした。
水生環境慢性有害性	: データ不足のため、分類できない。
オゾン層有害性	: データ不足のため、分類できない。

13 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 内容物/容器を法定廃棄物処理業者に処理を委託すること。
汚染容器及び包装	: 内容物を完全に除去し法定廃棄物処理業者へ処理を委託する。

安全データシート

製品名: AUデタージェント(アルカリ)
 製品番号: MS028400 /MS029700

14 輸送上の注意

品名	:ポリオキシエチレンアルキルエーテル	:水酸化ナトリウム
国連番号	:非該当	:3267
国連分類	:非該当	:クラス8(腐食性物質)
PACKING GROUP	:データなし	:PG II Pkginst 855
海洋汚染物質	:データなし	:データなし

注意事項

国内規制

陸上規制	消防法、毒劇物法、道路法の規定に従う。
海上規制	船舶安全法、港則法などの規制に従う。
航空規制	航空法の規制に従う。

15 適用法令

毒物及び劇物取締法	:ポリオキシエチレンアルキルエーテル	:水酸化ナトリウム
労働安全衛生法	:非該当	:非該当
化学物質管理促進法	:第1種指定化学物質 407	:法第57条の2 通知物質319
(PRTR法)	(C=12~15 及びその混合物に限る)	:非該当
大気汚染防止法	:データなし	:データなし
水質汚濁防止法	:非該当	:一律排水基準 その他の項目 水素イオン濃度(第2条第2項第2号) 海域以外の公共用水域に排出されるもの 5.8 以上 8.6 以下 海域に排出されるもの 5.0 以上 9.0 以下 指定物質(第2条第4項)
土壌汚染対策法	:データなし	:データなし
消防法	:非該当	:非該当
海洋汚染防止法	:施行令 有害液体物質 Y類物質	:施行令 有害液体物質 Y類物質

16 その他の情報

引用文献

:GHS 分類は JIS Z7252(2014) JIS Z7253(2012)に準拠しています。*JIS: 日本工業規格

作成・改訂情報

:改訂日 2015年12月1日 (作成日 1997年11月20日)

その他

:ベックマン・コールター社はここに記載した内容について有効かつ正確であると考えていますが有効性、正確性あるいは通用性を保証、もしくは明言するものではありません。当社はこの内容または製品の使用に関し、法的責任もしくは他のいかなる責任を負うものではありません。また、危険有害物質の廃棄は地域ごとの法律、規則に規制されることがあります。

詳細については最寄りのベックマン・コールター株式会社営業所までお問い合わせください